気になるカラダの悩み Q&A

龍虎堂薬局に聞きました

ココロとカラダに優しい

漢方のチカラ

Vol.93

病院でできること、漢方でできること

Q 不妊治療中ですが、なかなか結果が出ません。年齢もあってなのか、どうしたらいいのでしょうか……？

A 病院ではできることとできないことがあります。不妊症の場合、中医学では腎虚と瘀血と捉え、病院ではできないことをサポートします。

不妊治療が保険適用になって、体外受精にトライしやすくなりました。比較的若い方は成功率が高いと思いますが、30代後半～40代になると、月経はあっても卵子は加齢で老化しているので、採卵はできても授精から凍結、着床は難しくなります。また、授精には元気な精子が必要です。パートナーも40代以降になると腎虚が進み、精子の数や運動率が低下してきます。

卵子も精子も、その質は加齢による卵巣や精巣の機能低下（腎虚）に比例します。原因は卵巣や精巣の血流低下です。着床しにくいのも、子宮の血流低下（瘀血）が原因であることが多いのです。血流が悪いと栄養や酸素、熱、薬が十分届かず老廃物の回収も低下し、良質のものはつくれませんし、着床環境も悪くなります。まずは卵巣や精巣の血流を回復して、機能アップが大切です！中医学では適切な漢方薬で血流をサポートします！

漢方と養生についてアドバイスをいただきました。

龍虎堂薬局
薬剤師
夏苅和子 なつかり かずこ
日本不妊カウンセリング学会認定
不妊カウンセラー
夏苅竜子 なつかり りょうこ

不妊症の原因

甘党で偏食

甘党が続くと胃下垂や胃腸の消化吸収力が弱くなり、身体を養う気血が十分つくれません。そのため、相克関係（相手を抑える力関係）にある腎の臓腑機能が低下し（腎虚）、卵胞の発育が悪く、オリモノも排卵もなくなったりします。体質に合わせた補腎薬と腎を養うミネラル（海草、貝類、豆類）を摂って健康な卵子・精子を育てましょう！

辛党で偏食

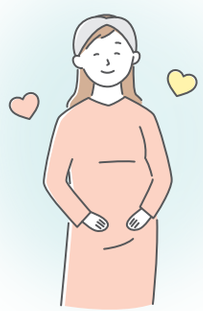
唐辛子やニンニク、シナモン、お酒など、辛い飲食が続くと身体に熱を持ってきます。余分な熱を汗で捨てるので身体の潤いが減り、卵巣や精巣の温度も上がって卵子や精子の質が悪くなります！つまり、卵胞が大きく育たない・オリモノが少ない、精子では液量の減少・不液化・直進率の低下・奇形・血精子症などにつながります。サウナも控えた方がいいでしょう。血の熱を冷ます緑の濃い野菜を摂りながら、清熱の補腎薬で調えます。

40歳前後

中医学では年齢と身体の盛衰は女性は7年、男性は8年で変化していくと考えます。女性の充実期は28歳、男性は32歳で、老化の始まりは女性35歳、男性40歳です。つまり、ここから腎虚が始まっているので、健康な卵子や精子のためには必ず補腎薬が必要になります。

着床しない

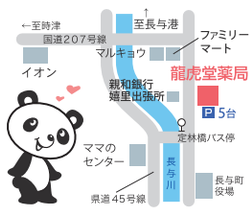
グレードのいい胚盤胞ができるのに着床しない……。かなり多くの方が経験されているのでは？これは着床する子宮内膜が汚いから、そこでは受精卵は生きていけないからです。月経痛が強く、血の色が紫暗で塊がある環境では、受精卵への栄養は届きません。子宮内膜の血流がよくピンク色で、生理の時の色がきれい、痛みや塊がない状態に導きましょう！漢方薬の得意分野です！



「漢方のチカラ」のバックナンバーはこちらからチェックできます！

http://kanpo-ryukodo.com/kanpo.html

あなたの悩みをチェックしてみよう！



龍虎堂薬局
営業時間／9:30~19:00　休／日曜・月曜　Pあり
西彼杵郡長与町嬉里郷1170-5
☎095-883-4300
龍虎堂薬局　検索
漢方相談はご予約下さい！　facebook更新中！

2022 全国実力薬局100選
「子宝」部門受賞